

越市長が住民指定の専門家と協議に同意

大津市と自治連・まち連が地盤安全性について協議

2012年4月18日に仰木の里学区自治連合会(野田新会長)から提出された、幸福の科学学園関西校建設に関する要請書を受け、5月16日に大津市と地元住民との面談が実現しました。住民側からは、申し入れを行った仰木の里学区自治連合会から3名、仰木の里まちづくり連合協議会(以下まち連)から3名の計6名が出席し、大津市からは、越大津市長をはじめ、政策統括官、都市計画部長を含む総勢10名が同席しました。大津市長と住民の面談は昨年8月に目片前市長に署名を手渡しして以来9ヶ月ぶりとなりましたが、今回初めて市の幹部がそろって議論する場となったこと、そして、住民代表として自治連合会の執行部が参加したことにより、画期的な面談となりました。

住民認識と異なる都市計画部の説明。

面談では、学園建設用地に対する地盤の安全性について、主に大津市の見解を聞く内容となりましたが、都市計画部長の発言より、新たに下記の2点が明らかになりました。

■大津市には、他に120カ所もの危険な場所があり、それに比べて当該地は危険であるとは認識していない。

■建築審査会に対して、都市計画部が担当部局として住民提出データが間違っていると意見を述べたこと。

上記で都市計画部が指摘したデータは、建築審査会でのやり取りの中で清水建設が提出したボーリングデータを、土木・建築の専門家が解析したものであったため、面談の中で具体的な間違いについて説明を求めましたが、根拠を示した具体的な回答は得られませんでした。このように両者の見解に大きな隔たりがある状況を考慮し、越市長は、住民側から提案された「大津市と住民指定の専門家との協議の場」を設定することを約束しました。

専門家との協議に向けて、自治連合会から再度の要請文提出

仰木の里学区自治連合会は、面談内容を踏まえ、翌日に改めて市に対して要請文を提出し、具体的かつ客観的な根拠に基づく回答を求めています(右要旨参照)。一昨年度には、大津市議会で「住民不安の解消に向けた取り組み」が全会一致で採択されています。大津市が書類形式上の説明にとどまることなく、住民に対して具体的なデータや分析結果を踏まえた説明を行うことが、まさに不安解消に向けた取り組みとなることが期待されます。



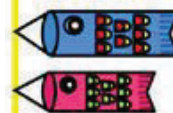
新聞でも多数報道

大津市と住民の面談は、マスコミからも高い関心が寄せられ、翌日の産経新聞、読売新聞、毎日新聞、京都新聞、中日新聞で報道されました。



面談の様子
(大津市役所・まち連撮影)

まち連だより



5・6月号

自治連合会から大津市への要請文要旨

- ① 清水建設が行った建築のためのボーリングデータの分析結果から、客観的に何がどこまでわかるのか。
- ② 住民が主張する地滑りしやすい当該地の地質、地形、条件等のデータに対し、大津市としては、どの点が適切でないと認識されているのか。またその根拠は何か。
- ③ その他、大津市が当該地盤を安全であるとする客観的な根拠は何か。
- ④ 当該地盤は個々に判断する段階ではないという発言があったが、大津市としてはどのような段階なら判断されるのか。

速報!

建築取り消し審査請求の裁決は5月30日の予定です。裁決後、数日以内に住民側に通知されますので、結果がわかり次第、号外などでお知らせします。まち連では、記者会見も計画中です。

「幸福の科学学園建設に関する報告会」のお知らせ

主催： 仰木の里まちづくり連合協議会

5月30日に予定されている審査請求の裁決の内容次第で、今後の取り組みの方向性が大きく変わります。そこで、下記の通り報告会を開催し、結果の詳細をご報告すると共に、今後の取り組みに関して、住民のみならずと率直に意見交換する場にしていきたいと思っていますので、多くのご参加をお待ちしております。

とき： 6月10日(日)午後2時～4時(予定)

ところ： 仰木の里市民センター3階大会議室

(駐車場に限りがありますので、なるべく徒歩にてご来場くださいますよう、ご協力お願いいたします。)

- 内容
- ・ 建築確認取り消し審査請求の結果報告
 - ・ 今後の取り組みについて
 - ・ 質疑応答・意見交換

託児所
あります。



川島町訪問レポート

大川隆法総裁の生誕地である徳島県川島町。これまでも、インターネットの「やや日刊カルト新聞」などにて、反対する住民へ「1000万円を下らない損害を被った」として反対看板撤去を求める通知書が送られてきたり、信者の自治会加入に賛成する署名・捺印を求めて教団側職員や役員らが各戸訪問するなどして、地元自治会が解散となった情報もありましたが、今回、仰木の里住民3名が現地を訪問し、教団関係者や周辺住民の方々からもお話を聞いてこられました。そのレポートが届きましたので、一部抜粋してお伝えします。

- ・ 川島特別支部は、町並みとは全く異なる外観の建物なので、すぐに見つけることができた。
- ・ 周辺住民の話によると、土・日・祝日と七のつく日には、多数の信者が訪れ、静かなまちが様変わりするとのこと。
- ・ まちの伝統的な神事で、幸福の科学の刺繍入りはっぴが配布され、また、山車担ぎには、他地域から多くの信者が動員されていたようです。
- ・ 昨年末、町の北側約6000坪の土地を教団が購入。他にも信者による土地の購入、信者から教団へ土地の寄付などが行われているそうです。

北大津まちづくりネットワーク(*)からメルマガ登録のお知らせ

北大津まちづくりネットワークでは、このたび新たにメールマガジン(北まちネットメルマガ)の運用を開始いたしました。メルマガでは、学園建設に関する情報をタイムリーにお伝えします。

(内容)

- ・ 北まちネットワークホームページの新着記事
- ・ まち連からのお知らせ、新着チラシ
- ・ 報告会・学習会のお知らせ
- ・ 各種、新聞・Web報道



ご登録は、下記のページよりお願いいたします。ご登録に際して必要な情報は、メルマガ受信用のメールアドレスのみです。

<http://kitaootsu-net.sakura.ne.jp/mailmagazine.html>

(なお、これまで北まちネットメーリングリストにご参加いただいていた方々に付きましては、北まちネットメルマガへの一括登録を行っておりますので、ご了承ください。)

多くの皆様のご登録をお待ちしています。

(*) 北大津まちづくりネットワークとは：建設問題発覚直後の2010年12月に結成された仰木の里住民による有志のグループ。署名運動などを発起してきましたが、2011年春に自治会が主体となって運営する「まち連」が発足した後は、ホームページ・MLの運営に特化し、まち連と連携をとりながら、多角的な情報発信を続けています。